



2007. 2 No.9 愛美会企画部

愛美会ニュース



愛媛県四国中央市上分町乙8-2 TEL 0896-56-2333

<http://www11.plala.or.jp/aibikai/>

介護老人福祉施設	樋谷 荘
介護老人保健施設	アイリス
ケアハウス	虹の里
グループホーム	虹の里

新年を迎えて



(社会福祉法人 愛美会)
理事長 石川 繁一

新しい年を迎え、早一ヶ月が過ぎましたが、皆様にはますますご健勝のことと、お慶び申し上げます。

昨年四月に介護保険と医療保険が同時改定され、医療と介護を取り巻く環境はますます厳しくなり、本年四月には更に新予防給付がスタートするため、新たな混乱も予想さ

れます。

中でも介護予防支援・介護予防サービスが受けられないなど、いわゆる介護難民が出るのではないかと危惧しております。

介護保険事業者にとっても、制度の変化にいかに対応して行くかが、生き残りの鍵となります。

昨年末にテレビを見ておりましたら、太古からの生物の進化の中でも、決して強いものが生き残ってきたわけではなく、環境の変化に対する順応性の高いものが生き残ってきたということが話されておりました。

「上善は水の如し」と言われますが、決まってしまった制度に不平を言っても始まりません。

水が器によってその形を変

える様に与えられた環境の中で、固定観念に捉われない柔軟な物事の考え方をもち、様々な環境の変化に即応できる職員の育成、組織作りの必要性を強く感じております。

愛美会を含む石川病院グループにおいては、ご利用者の皆様にご迷惑をお掛けする事の無いよう、介護度や目的に合った各種のサービスがこれまで通り提供できるよう、職員一丸となって受け皿造りの体制を整えております。

制度が次々と変わり、ご利用者の皆様にとっては複雑で難解な中身となっておりますが、担当の介護支援専門員にお気軽にお尋ね下さい。

そして、今年もお変わりなく各施設をご利用頂きます様お願い致しまして、年初のご挨拶とさせていただきます。

西原施設長挨拶



(介護老人保険施設 アイリス)
施設長 西原孝典

老人保健施設「アイリス」が平成三年に開設されて十六年目。二年前に私が着任した時は、既にハード面もソフト面も完備していました。

石川病院・石川歯科医院という心強い、協力医療機関があり、昨年末の感染性胃腸炎では、設備面や職員の対応が即座に、且つ的確に行われ、各階とも二、三日で沈静、続発を防ぐことが出来て、私は大変感銘を受け、誇りに思いました。

しかしながら、国家財政の悪

化と、介護保険制度の維持のため、利用者の負担金の増加、又介護報酬の大幅な引下げにより、施設運営は大変厳しくなっております。

今まで日本の家庭・社会・国家を支えて頂いた高齢者の皆様に対しまして、貢献すべく施設職員一同、引き続き尽力致す所存であります。

皆様におかれましては、今後共一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

篠原施設長挨拶



(介護老人福祉施設 樋谷の里)
ケアハウス・グループホーム 施設長 篠原修三

新年明けましておめでとうござ

ざいます。皆様方にはご健勝にて、平成十九年の新春をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

今年亥年であります。動物にたとえると「猪」であり、「猪」は向こう見ずに前進することから「猪突猛進」と言われております。皆様方におかれましては、向こう見ずに前進することのないように、常に一歩一歩前進するような一年であってほしいと願っております。

昨年は、不透明な経済情勢の中で特に介護保険制度の一部改正等により、厳しい施設運営となりましたが、市当局並びに係機関や地域の皆様のご協力とご支援を頂き、事業は順調に推進してまいりました。

この間入居者・利用者の皆様は、ご家族をはじめ各種団体・地域住民の方々、職員等に支えられながらクラブ活動やリハビ

リ等に励み、外出・外泊・お誕生会等の行事を通して、楽しく過ごして頂いた一年であったと思っております。

今年四月からは、介護予防サービス事業が開始されることとなりますが、介護保険制度の下で、入居者・利用者の残存機能を維持することを目標に、家族の皆様や各種団体・地域の皆様のご支援を頂きながら、役職員が一丸となって、安定したホーム作りの推進に努めたいと考えておりますので、今後共尚一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



四国老人福祉学会 第26回大会開催

どうなった？ 高齢者の医療と福祉 医療保険・介護保険同時改定の影響を検証!!



(大会長として挨拶する)
石川繁一理事長

去る11月25、26日と二日間に亘り、「四国老人福祉学会第26回大会」が、石川繁一理事長を大会長として、愛美会各施設を主会場に開催されました。

この学会は、医療・福祉・保健・教育の各関係者が幅広く加入し、それぞれの職域を越えて、研究の成果を発表し、研鑽する場として、26年もの長きに亘り、活動を続けてきた伝統ある学会です。

1日目は「厚生労働省 老健局 地域ケア・療養病床転換推進室 企画官 榎本健太郎氏」と「静岡県立大学 経営情報学部 経営情報学科 教授 小山 秀夫氏」をお招きし、ご講演いただきました。

榎本氏の講演では、「介護保険制度の定着に伴い、コストも増大したため、今回は団塊の世代の方が高齢者の仲間入りをする2015年をにらみながら、予防重視の制度に転換し、制度を持続可能なものにしていく必要がある。」とのお話でした。

また、療養病床の再編や医療保険と介護保険の調整にも触れ、地域の特性に応じた対応の必要性から「地域ケア整備構想」の策定について説明されました。

小山氏の講演では、先の榎本氏の説明を受け、昨年の診療報酬改定と介護報酬の同時改定が利用者や事業者にどのような影響を及ぼしているのかを具体的に検証し、「医療・介護は変革期にある。この変化に対応出来るもののみが生き残る。制度改革の中身を熟知し、柔軟に対応していくことが必要。」とのお話がありました。

事業者が今後進むべき方向性の示唆に富んだ講演でした。



(榎本企画官)



(小山教授)

続くシンポジウムでは、「どうなった!! 高齢者の医療と福祉」のテーマに基づき、医療福祉各分野のシンポジストから、制度改革後の現状と課題を検証し、今後の方向性について、活発な議論が行われました。

大会2日目は、四国内のみならず、遠くは福岡や京都からも医療機関や介護施設、大学や専門学校等からの発表者が集い、日頃の研究成果が発表されました。

3分科会で19題の研究発表が行われましたが愛美会からは、樋谷荘の大西賢児さん、石川病院からはリハビリ科の吉田佳奈さんと尾上雄規さん、看護部の青木由美さん、高橋真理子さんが発表を行い、熱心な質疑応答がみられました。



(シンポジウム)



(石川病院看護部からの発表)



(愛媛大学名誉教授 渡邊 孟先生)
(来賓挨拶を行い、大会を祝し…)



(分科会場には季節感に富んだ飾り付けが)



(石川病院と愛美会の職員が
一致団結し、大会を盛り上げ…)

ケアハウス虹の里 入居相談Q&A!

早いもので、ケアハウス虹の里も今年6月で10年目を迎えることになりました。しかしながら、未だに誤解されている点が多々ある為、今回はQ&A方式で、よく聞かれる事をわかりやすくお答えしたいと思います。



- Q1 どんな人が入居できますか？
A 60歳以上で、身の回りのことが多少不便でも自分で出来、一人暮らしに不安のある方です。
- Q2 ケアハウスといえば、入るのにたくさんお金が必要なんですよね？
A いいえ。そのような事はありません。敷金・礼金・頭金といったたぐいのものは一切必要ありません。月々の利用料は家賃・食費・光熱費を含めて約7万～12万円だけです。
- Q3 介護保険の認定を受けてなければ、入れないんですよね？
A いいえ。介護保険の施設ではありませんので、必要ありません。
- Q4 食事は1日3食準備してもらるので安心ですが、掃除や洗濯が自分でできません。どうすればいいですか？
A 要介護認定を受けられていれば、ヘルパーさんに来てもらいお願いできます。



今回は4つの質問にお答えしましたが、他にもまだまだ誤解されていることが多いと思います。是非1度、1人で悩まずに施設見学を兼ねて、気軽にご相談いただければと思います。

お問合せ先 ☎58-0012 担当:児山まで

グループホーム虹の里 新年を迎えて!

平成19年亥の年を迎え、グループホーム虹の里では、1月11日(木)、川之江八幡神社へ恒例の初詣に出掛けました。

入居者の皆さんそれぞれに、胸に思いを秘めて手を合わせられました。思いが通じる一年になるといいですね。一緒にお参りした職員の願いも一つです。“入居者の皆さんが今年も元気に過ごせますように!”昔、慣れ親しんだ境内を散策する姿は、童心に返ったようでした。



“犬も歩けば棒にあたる”“頭かくして尻かくさず”と読み上げる声に意識を集中、真剣な表情でカルタを見つめられています。馴染みのある言葉が出る度に、「これ知っとる。聞いたことあるでー」と次々と取っていくその顔は、得意そうでした。

頭と目と耳を自然に鍛えられるカルタ取りは、お正月に限らず、遊びながら出来るリハビリとして、取り入れていきたいと思っています。

アイリス 太極拳クラブでリフレッシュ!!



太極拳と聞くと、皆様どんなイメージを連想されますか？

中国で盛んに行われている体操…等が思い浮かびますが、実は日本でも人気が高く、老若男女のスポーツとして、約100万人の愛好家がいると言われてています。

アイリスでは、昨年の10月から月2回程度、講師の先生指導のもと、車椅子でも出来る太極拳を取り入れたクラブ活動を実施しています。

ご利用者の親しみのある音楽に合わせて、気功を取り入れた準備体操から始まり、呼吸法を取り入れた“型”の練習に励んでいます。

太極拳には、肩こりや腰痛、新陳代謝の機能も高め、美容や若返り等、様々な健康増進の役割が果たせると言われています。

今後のクラブ活動に乞うご期待…。



アイリス通所リハビリ フットケアで癒しの空間を…

皆さんフットケアという言葉をご存じでしょうか？

フットケアとは、オイルやお湯を使い、足のマッサージや、爪の手入れを行うことで、血行促進や疲労回復に効果があると言われてています。



アイリス通所リハビリでも昨年の4月から専門の研修を受けてきた職員が、週2回実施しています。ご利用者の方からも「気持ちがよくて、足が軽



くなった。」「足のむくみがとれて、夜はよく眠れるよ。」等大好評です。

足は第2の心臓ともいわれ、とても大切なものです。百聞は一見にしかず。皆様もアイリス通所リハビリでフットケアを体験してみませんか！！